

ふりがな 活動組織名	さくらいちいきかんきょうほぜんきょうぎかい 桜井地域環境保全協議会			活動開始 年度	平成19年度
ふりがな 所在地	ちちぶしもよした 秩父市下吉田1227-1			現活動期間	令和4～8年度
交付金額 (基本)	農地維持	411,600 円	資源向上 (共同)	234,072 円	資源向上 (長寿命化) 円

※交付額は、交付単価に基づいた金額を記入します。

主な活動 又は 特色ある活動

当地区は平成19年より活動を開始し、遊休農地対策や農地維持に地域一体となり改革・改善に努力を重ねて参りました。平野部と異なり林野化、竹林化となる恐れのある農地が多く、当初は重機無くしてはできない作業ばかりでしたが、今度は、その使用可能となった農地をどう維持するのかという問題に直面し、平成21年、それらの農地を活用すべく「さくらいもの会」構成員(当時18名)が発足し、自力で運営できる組織が発足し、試行錯誤の中、現在では約70aを耕作する農業構成員になりました。サツマイモ、荳胡麻、ジャガイモ等の栽培を経て、平成27年度はサツマイモ8t、しゃくし菜22tを生産し作業報酬も@400円で始まった当時と違い、現在では@900円を越すほどに成長し、地域内の遊休農地抑制に大きな貢献をすることが可能となり、環境組織が農地維持を遂行し、さくらいもの会が圃場として農地を向上させるという循環が出来てきました。今後の課題は、両組織とも高齢化の問題です。若い人材をいかに確保・参加の方向にもって行くかであり、特に生産行動は、曜日と相談が困難であり、かなり難解な問題を抱えています。



(当時の農地対策作業)



(現地へのサツマイモ活動)



(しゃくし菜収穫作業)

今後の取組について

今後は専業農家も高齢化で、耕作面積の縮小も考えられ、遊休農地の拡大化の懸念もあり地域住民でどれだけの農用地の管理と整備ができるか、また現在のいもの会がいつまで耕作を続けていけるかが課題であります。それには付加価値の高い生産物の発掘と若い世代の協力をいかに取り付けていけるかが大きなカギとなるでしょう。

【認定の対象となる資源の状況】

田	畑	草地	用水路 (開水路)	用水路 (パイプライン)	排水路	ため池	農道
6.56 ha	10.74 ha	0 ha	2,500 m	3,000 m	m	1 箇所	2,600 m

【活動組織の構成員】

農業者	7 人	主な構成 団体名	桜井用水組合、花の部会、在来種育成部会、土手池保全部、鳥 獣監視部、花木部、さくらいもの会
非農業者	18 人		